

論 文

手術を受けるCAPD患者への セルフケア再確立への援助

山中 紀子・真田 祐子・中川 正美
木村かおる・西村 紀美・岩田 和美
(金沢市立病院)

坂井 恵子
(石川県立総合看護専門学校)

Helping CAPD Patients Reestablish Self-Care after Surgery

Noriko Yamanaka, Yuko Sanada, Masami Nakagawa,
Kaoru Kimura, Kotomi Nisimura, Kazumi Iwata
Kanazawa Municipal Hospital

Keiko Sakai
Ishikawa Prefectural School of Nursing and Public Health Nurses

要 旨

本研究は、壮年期男性で、CAPDのセルフケア自立から手術により一旦他者管理に戻り、さらに他者管理からセルフケア再確立に順調に向かった患者を対象とし、慢性疾患でセルフケアを行う患者の同様の問題状況に対応する援助の要点を明らかにすることを目的とした。セルフケア自立、セルフケア自立から他者管理、他者管理からセルフケアの再確立への移行の3期に経過を分け、それぞれの時期において行ったセルフケアへの看護を振り返って結果とし、順調に経過した理由を考察した。セルフケアの自立の維持について、慢性疾患患者におけるセルフケアは最適健康を維持することであり、患者を全体的に把握し、その心理構造を理解すること、そして援助の方向性をセルフケアへと定め実施すること、セルフケア自立から他者管理への移行については、患者と対等な関係において患者の意見を尊重し、患者が納得できる援助方法を患者と共に検討すること、他者管理からセルフケアの再確立への移行については、患者の自立心を尊重し、患者が意志決定することが重要であると導き出した。